



## 今月の内容



### 会場に響く弦音

都城弓まつり全国弓道大会が3月23日・24日の2日間、早水公園体育文化センターで開催されました。「日本一の弓のまち・都城」を広く全国にPRし、都城大弓の魅力発信と生涯スポーツとしての弓道の普及を目的に、毎年開催される本大会。全国から約2,800人が、中学生・高校生の部と一般の部にエントリーし、日頃の練習の成果を競い合いました。また、会場では、都城大弓の展示販売も行われ、参加者や観客など、多くの人でにぎわっていました。



### 看護の実践授業の充実を図る新校舎が完成

都城市北諸県郡医師会が運営する都城看護専門学校の新校舎が完成し3月29日、同校舎内で落成式と内覧会が行われました。高齢化社会による在宅医療のニーズの増加を見据え、車いす利用者などを想定した模擬体験授業を行う、畳の部屋やユニットバスなどを備えた「在宅看護実習室」も設置した新校舎。田口利文医師会会長は「看護師の養成は、都城地域の医療を支える大きな力になる。ぜひ、新しくなった校舎で多くの学生に学んでほしい」と力を込めていました。

02 まちの話題

04 **特集** 平成の都城を振り返る

08 都城の生活を支える「地下水」

09 都城市新水道ビジョン

09 河川環境を改善する「下水道」

10 ハロー市役所元気講座・ハロー元気講座

12 感動は無限大 南部九州総体2019

13 高齢者クラブで楽しみながら生きがいがづくり

14 人の風景

16 INFORMATION (市からのお知らせ)

22 あなたの健康を守るがん検診 (6月の日程)

23 がん検診に新しい検査が加わります／  
今月のお便利

24 みやこんじょ盛り上げ隊！／  
今月のプレゼント

25 国際交流員のひとりごと／  
美術館情報／学校へ行こう！

26 図書館だより／歴史探訪／伝承館だより

27 NPO通信／安全・安心情報／  
番組紹介／現住人口／編集後記

28 楽うまレシピ

### 取材で会った笑顔

#### 仲間と楽しむ 満開のサクラ

3月30日のもちお桜まつりのステージイベントで、地区の仲間たちともちお桜音頭を踊りました。踊った後の、仲間と一緒にサクラの下で食べる弁当は格別。今年の祭りは晴れていて、サクラが満開でした。とてもにぎわっていて楽しかったです。



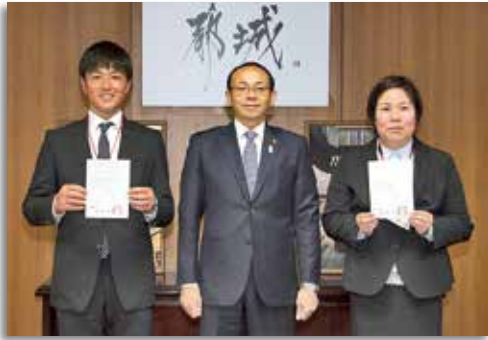
左 横山 ミチ子さん  
右 小妻 由布子さん  
(ともに横市町)

### 今月の表紙

#### 子どもらの笑顔を思い浮かべて

庄内川堤防沿いに150匹のこいのぼりが、5月11日(土)まで掲揚されています。子どもらの健やかな成長を願い、そうない庄内商工会青年部が毎年続けているこの取り組み。部員らは4月7日、子どもらの笑顔を思い浮かべながら作業に汗を流していました。





## 地域活性化に取り組み 隊員が着任

地域おこし協力隊の辞令交付式が4月1日、市長室で行われました。鹿島鉄平さんと末永ちほみさんが着任。池田市長は「本市の良いところや感じたことを、市民や市外の人に発信してほしい」と激励しました。2人は、温泉などを活用した地域振興や、移住・定住の促進に取り組みます。



## 県内唯一の観覧車が リニューアル!

観音池公園(高城町石山)にある県内唯一の観覧車が、鮮やかなグリーンの新塗装やゴンドラのアクリルパネルの交換などを施され、リニューアルしました。晴天となった3月31日には、花見に訪れた多くの家族連れらが、サクラ咲き誇る春の同公園の眺望を楽しんでいました。



## 平和の大切さを 胸に刻む

都城市特別攻撃隊戦没者慰霊祭が4月6日、都島公園内の慰霊碑前で行われました。参加者130人が献花をした後、中藺達哉さん(高崎中3年)が平和へのメッセージを朗読。「戦争をしないことが私たちの使命。平和の大切さを次世代に伝えていきたい」と強く思いを込めていました。



## 改善の努力と先進的な 取り組みが評価される

日本農業賞の集団組織の部で優秀賞を受賞した観音池ポーク出荷組合が4月2日、池田市長を表敬訪問しました。経営や技術の改善に取り組み、地域社会に貢献する農業者などに贈られる同賞。上村高弘組合長は「取り組みが評価されうれしい。さらに上を目指したい」と意気込んでいました。



## 5年ぶりの新入生 笛水小中学校に

小中一貫校の笛水小中学校(全児童・生徒数8人)に4月9日、5年ぶりに小学1年生が入学しました。緊張した面持ちで入場した谷畑姫乃さんを、在校生や教職員らが祝福。橋口康明校長は「感謝の心を大切にし、笛水を誇りに思うことを心掛けてほしい」と歓迎しました。



## 安全で安心なまちを 目指して

地域の安全・安心活動推進モデル地区の指定交付式が4月8日、市役所で行われました。本市と三股町の3地区を指定。立野町・宮村地区で活動する南九州大学フェニックスパトロール隊の代表高橋絵里香さん(4年)は「他地区とも連携し、活動の輪を広げたい」と意気込んでいました。